

沖縄県難聴者福祉講演会

当事者研究で広がる聴覚障害者の未来

～自己を見つめ、知り、語る～

補聴器や人工内耳を装用した聴覚障害者(児)やろう者、聴覚障害支援関係者に加え、聞こえに関心の高い沖縄県民の方々を対象に「聴覚障害者の当事者研究」の有効性及び必要性について講演会を開催いたします。

聴覚障害者(児)が当事者研究を通じて、聴覚障害者自身の様々な困りごとの実態を見つめ、知り、語り合うことで、当事者研究が持つ可能性を探り、その成果を沖縄県の聴覚障害者を取り巻く社会環境の改善及び、聴覚障害者(児)の社会的自立の促進に寄与することを目的としています。

講師



西垣 正展 氏
滋賀県立聾話学校 教諭



松崎 丈 氏
宮城教育大学
特別支援教育講座准教授

参加対象

聴覚障害者(児) 聴覚障害支援関係者、きこえに関心のある沖縄県民の方々

情報保障

要約筆記、手話通訳、UDトーク、ヒアリンググループ、Rogerシステム

平成31年

2月10日 日

午前10:00～午後16:00
(午前9:30開場)

参加費無料

定員100名

会場

沖縄国際大学3号館303・305教室

〒901-2211 沖縄県宜野湾市宜野湾2-6-1

事務局

沖縄県難聴・中途失聴者協会 実行委員長 根間 洋治

〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅2-3-1なは市民活動支援センター内

MAIL okinankyo@gmail.com

FAX 098-870-7340

【主催】沖縄県難聴・中途失聴者協会 【協力】沖縄国際大学

【後援】沖縄県、沖縄県教育委員会、宜野湾市、(福)沖縄県身体障害者福祉協会、(福)沖縄県社会福祉協議会、(福)宜野湾市社会福祉協議会、(特非)宜野湾市身体障害者福祉協会、(一社)沖縄県聴覚障害者協会、沖縄県聴覚障害児を持つ親の会、(特非)全国要約筆記問題研究会沖縄県支部、沖縄県手話通訳問題研究会、(株)琉球補聴器、補聴器のびあ、(株)沖縄タイムス社、(株)琉球新報社(予定)

沖縄県難聴者福祉講演会 プログラム

9:30~10:00	受付	
10:00~10:05	開会のあいさつ 沖縄県難聴・中途失聴者協会 会長 根間 洋治	
10:05~10:10	オリエンテーション	
10:10~10:50	講演① 「聴覚障害当事者研究ってなんだろう？」 松崎 丈 氏(宮城教育大学 特別支援教育講座准教授)	
10:50~11:00	休憩	
11:00~11:40	講演② 「聴覚障害当事者研究をやってみて」 西垣 正展 氏(滋賀県立聾話学校 教諭)	
11:40~12:00	質疑応答	
12:00~13:00	昼食 (各自ご準備をお願いします)	
13:00~14:50	ワークショップ (305号室) 西垣正展 氏 定員30名 「きこえに関する困りごとについてどう付き合う？」 ※当事者のみのワークショップ(6名×5グループ)で構成	講演③ (303号室) 松崎丈 氏 定員70名 「聴覚障害当事者研究の 今を知ろう！」
14:50~15:00	休憩	
15:00~15:30	報告会	
15:30~15:40	閉会の言葉 沖縄県難聴・中途失聴者協会 副会長 比嘉 誠伸	

講演会申込書

MAIL okinankyo@gmail.com

FAX 098-870-7340

※ご記入いただいた個人情報は、沖縄県難聴者福祉講演会以外での目的に使用することはありません。

申込者	フリガナ	聴覚障害の有無	連絡先
		有・無	
午後の希望講演 (いずれかに○)	ワークショップ・講演③ (ワークショップは当事者のみの参加となります)	必要な情報保障 (いずれかに○)	要約筆記・ヒアリンググループ・手話

参加者①	フリガナ	聴覚障害の有無	連絡先
		有・無	
午後の希望講演 (いずれかに○)	ワークショップ・講演③ (ワークショップは当事者のみの参加となります)	必要な情報保障 (いずれかに○)	要約筆記・ヒアリンググループ・手話

参加者②	フリガナ	聴覚障害の有無	連絡先
		有・無	
午後の希望講演 (いずれかに○)	ワークショップ・講演③ (ワークショップは当事者のみの参加となります)	必要な情報保障 (いずれかに○)	要約筆記・ヒアリンググループ・手話

参加者③	フリガナ	聴覚障害の有無	連絡先
		有・無	
午後の希望講演 (いずれかに○)	ワークショップ・講演③ (ワークショップは当事者のみの参加となります)	必要な情報保障 (いずれかに○)	要約筆記・ヒアリンググループ・手話